
Interconnecting Cisco Networking Devices Part 2 (200-105J)

試験概要: Interconnecting Cisco Networking Devices Part 2 試験(200-105J)は、CCNA Routing and Switching 認定資格に関する試験であり、試験時間は 90 分、問題数は 45 ~ 55 問です。この試験では、LAN スイッチング テクノロジー、IPv4 および IPv6 ルーティング テクノロジー、WAN テクノロジー、インフラストラクチャ サービス、インフラストラクチャのメンテナンスに関する受験者の知識とスキルが問われます。

次に、この試験の一般的な出題内容を示します。ただし、試験によっては、ここに示されていない関連項目も出題される場合があります。試験内容をより適切に反映し、明確にするために、次のガイドラインは予告なく変更されることがあります。

- 26 % 1.0 LAN スイッチング テクノロジー**
- 1.1 複数のスイッチにまたがる VLAN (標準範囲、拡張範囲) の設定、確認、トラブルシューティング
 - 1.1.a アクセス ポート (データおよび音声)
 - 1.1.b デフォルト VLAN
 - 1.2 スイッチ間接続の設定、確認、トラブルシューティング
 - 1.2.a トランクへの VLAN の追加、削除
 - 1.2.b DTP および VTP (v1、v2)
 - 1.3 STP プロトコルの設定、確認、トラブルシューティング
 - 1.3.a STP モード (PVST+ および RPVST+)
 - 1.3.b STP ルートブリッジの選出
 - 1.4 STP 関連オプション機能の設定、確認、トラブルシューティング
 - 1.4.a PortFast
 - 1.4.b BPDU Guard
 - 1.5 EtherChannel (レイヤ2/レイヤ3) の設定、確認、トラブルシューティング
 - 1.5.a スタティック
 - 1.5.b PAGP
 - 1.5.c LACP
 - 1.6 スイッチ スタッキングおよびシャーシ集約の利点の説明
 - 1.7 一般的なアクセス レイヤ脅威緩和技術の説明
 - 1.7.a 802.1x
 - 1.7.b DHCP スヌーピング
 - 1.7.c 非デフォルトのネイティブ VLAN

- 29 % 2.0 ルーティング テクノロジー**
 - 2.1 VLAN 間ルーティングの設定、確認、トラブルシューティング
 - 2.1.a Router on a Stick
 - 2.1.b SVI
 - 2.2 ディスタンス ベクターとリンクステート ルーティング プロトコルの比較対照
 - 2.3 内部ルーティング プロトコルと外部ルーティング プロトコルの比較対照
 - 2.4 IPv4 用のシングル エリア OSPFv2 およびマルチエリア OSPFv2 の設定、確認、トラブルシューティング(認証、フィルタリング、手動集約、再配布、スタブ、仮想リンク、LSA を除く)
 - 2.5 IPv6 用のシングル エリア OSPFv3 およびマルチエリア OSPFv3 の設定、確認、トラブルシューティング(認証、フィルタリング、手動集約、再配布、スタブ、仮想リンク、LSA を除く)
 - 2.6 IPv4 用 EIGRP の設定、確認、トラブルシューティング(認証、フィルタリング、手動集約、再配布、スタブを除く)
 - 2.7 IPv6 用 EIGRP の設定、確認、トラブルシューティング(認証、フィルタリング、手動集約、再配布、スタブを除く)

- 16 % 3.0 WAN テクノロジー**
 - 3.1 ローカル認証を使用した WAN インターフェイスでの PPP および MLPPP の設定および確認
 - 3.2 ローカル認証を使用したクライアント側 PPPoE インターフェイスの設定および確認
 - 3.3 GREトンネル接続の設定、確認、トラブルシューティング
 - 3.4 WANトポロジ オプションの説明
 - 3.4.a ポイントツーポイント
 - 3.4.b ハブ アンド スポーク
 - 3.4.c フル メッシュ
 - 3.4.d シングルホームとデュアルホーム
 - 3.5 WAN アクセス接続オプションの説明
 - 3.5.a MPLS
 - 3.5.b メトロイーサネット
 - 3.5.c ブロードバンド PPPoE
 - 3.5.d インターネット VPN (DMVPN、サイト間 VPN、クライアント VPN)
 - 3.6 eBGP IPv4 を使用したシングルホーム ブランチ接続の設定および確認(ネットワーク コマンドだけを使用したピアリングおよびルート アドバタイズメントに限定)

- 14 % 4.0 **インフラストラクチャ サービス**
 - 4.1 基本的な HSRP の設定、確認、トラブルシューティング
 - 4.1.a プライオリティ
 - 4.1.b プリエンプション
 - 4.1.c バージョン
 - 4.2 クラウドリソースがエンタープライズ ネットワーク アーキテクチャに与える影響の説明
 - 4.2.a 内部および外部クラウド サービスへのトラフィック パス
 - 4.2.b 仮想サービス
 - 4.2.c 基本的な仮想ネットワーク インフラストラクチャ
 - 4.3 QoS の基本的な概念の説明
 - 4.3.a マーキング
 - 4.3.b デバイスの信頼性
 - 4.3.c 優先順位付け
 - 4.3.c. (i) 音声
 - 4.3.c. (ii) ビデオ
 - 4.3.c. (iii) データ
 - 4.3.d シェーピング
 - 4.3.e ポリシング
 - 4.3.f 輻輳管理
 - 4.4 トラフィック フィルタリング用の IPv4 および IPv6 アクセス リストの設定、確認、トラブルシューティング
 - 4.4.a 標準
 - 4.4.b 拡張
 - 4.4.c 名前付き
 - 4.5 APIC-EM パストレース ACL 分析ツールを使用した ACL の確認
- 15 % 5.0 **インフラストラクチャの運用**
 - 5.1 デバイスマonitoring プロトコルの設定および確認
 - 5.1.a SNMPv2
 - 5.1.b SNMPv3
 - 5.2 ICMP エコーベースの IP SLA を使用したネットワーク接続問題のトラブルシューティング
 - 5.3 ローカル SPAN を使用したトラブルシューティングおよび問題解決
 - 5.4 TACACS+ および RADIUS を使用した AAA によるデバイス管理の説明
 - 5.5 エンタープライズ ネットワーク アーキテクチャにおけるネットワーク プログラマビリティの説明
 - 5.5.a コントローラの機能
 - 5.5.b コントロール プレーンとデータ プレーンの分離
 - 5.5.c ノースバウンド API およびサウスバウンド API
 - 5.6 レイヤ 3 エンドツーエンド接続における基本的な問題のトラブルシューティング